

14 柔 道

1 期 日 令和6年7月13日(土)・14日(日)

2 会 場 長野県立武道館主道場
〒385-0011 佐久市猿久保165-1 TEL 0267-78-5370

3 日 程

13日(土) 受付・予備計量	11時00分～
計量・柔道衣点検	11時30分～12時55分(剣道場)
審判会議	13時00分～13時15分(大会議室)
監督会議	13時00分～13時20分(剣道場)
団体戦開始式	13時50分～14時00分
競技開始 男女団体戦	14時05分～17時00分
男女団体戦表彰式	17時15分～17時30分
14日(日) 開場	7時30分
計量・柔道衣点検	8時00分～ 8時45分(剣道場)
審判会議	8時25分～ 8時40分(大会議室)
監督会議	8時25分～ 8時45分(剣道場)
個人戦開始式	9時15分～ 9時25分
競技開始 男女個人戦	9時30分～14時00分 ★昼食時間は設けない。(予定)
男女個人戦表彰式	14時15分～14時30分

※表彰式終了後、北信越大会・全国大会申込みの連絡会を行う。

4 競技方法 ※今年度、長野県で全国中学校柔道大会が開催されることに伴い、男女団体及び男女個人において開催地代表としての出場枠が設けられる(開催地代表は、男女団体2位のチーム及び男女個人各階級2位の選手とする)。今年度に限り、競技方法を以下のように一部変更する。

(1) 団体戦 男子20チーム、女子16チームによるトーナメント方式とする。

<順位決定について>

①団体戦トーナメント方式の順位は、次の方法によって決定する。

ア チーム間の勝ち数による。

イ アにおいて同等の場合は、内容(得点等)により決定する。

ウ イにおいて同等の場合は、1名による代表戦により決定する。

②2位は、次の方法によって決定する。

ア 準決勝敗者同士による対戦を行う。

イ アの勝者と決勝敗者による対戦を行い、勝者を2位とする。

※アの試合結果により準決勝と同対戦となった場合は、イは行わない(決勝敗者を2位とする)。

(2) 個人戦 男女とも8階級、各階級16名によるトーナメント方式とする。

<順位決定について>

①2位は、次の方法によって決定する。

ア 準決勝敗者同士による対戦を行う。

イ アの勝者と決勝敗者による対戦を行い、勝者を2位とする。

※アの試合結果により準決勝と同対戦となった場合は、イは行わない(決勝敗者を2位とする)。

(3) 試合時間 団体・個人戦ともに3分間とする。決着のつかない場合は、時間無制限のゴールデンスコア(以下はGS)の延長戦を行い、勝敗を決定する。

5 競技規則

- (1) 国際柔道連盟審判規定及び国内における「少年大会特別規程」(2024. 4. 1 改正) による。
- (2) 優勢勝ちの判定基準は次の通りとする。

①団体戦

ア 個々の試合においては勝ちの内容順を「一本」「技有」「僅差」とする。

※「僅差」とは、双方の選手間に技による評価(技有)が無い、又は同等の場合に「指導」差が2あった場合に少ない選手を「僅差」による優勢勝ちとする。1差であれば「引き分け」とする。

イ 代表戦は任意の選手とし、勝敗基準は団体戦と同様とするが、3分間の本戦で得点差が無い場合はGSの延長戦により勝敗を決する。延長戦による勝敗決定の方法は個人戦と同様とする。

ウ 代表戦で両者反則負けの場合には、チームは次の試合に進めない。

②個人戦

ア 勝敗の判定基準は「一本」「技有」又は「僅差(『指導』の差2)」とする。得点差が無い場合はGSでの延長戦により勝敗を決する。

イ 両者反則負けの場合には、次の試合に進めない。

- (3) 細部における同審判規定の運用上の申し合わせ事項は、全国中学校柔道大会の申し合わせ事項に準じて実施する。

6 参加規定

(1) 団体戦

①男子は各地区5チーム、女子は各地区4チームとする。但し、各地区で出場チーム数に満たない場合は、他地区から補充をする。なお、補充するチームについては専門委員の協議によるものとする。

②男子の1チームの人員は、監督1名・(コーチ1名)、選手7名以内とし、5人戦とする。
女子の1チームの人員は、監督1名・(コーチ1名)、選手4名以内とし、3人戦とする。
試合ごとに選手の位置を変えることはできない。

③チームの編成は、体重の最も重い者を大将とし以下順次体重順に編成する。

④有段者は、黒帯を用いること。(講道館から段位証書が交付された者)

(2) 個人戦

①男女とも、各階級各地区4名とする。(各地区で出場者数に満たない場合であっても他地区からの補充はしない)

②各階級及び体重区分

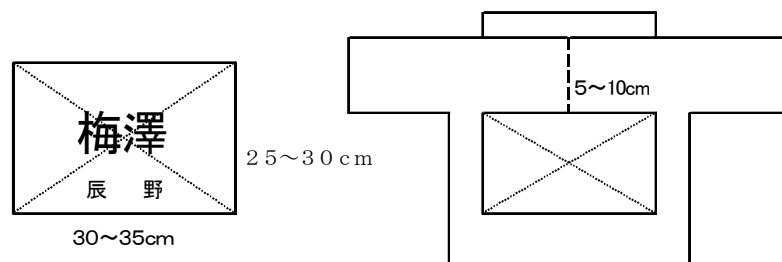
【男子】	ア	50kg級	50kg以下
	イ	55kg級	50kgを超えて55kg以下
	ウ	60kg級	55kgを超えて60kg以下
	エ	66kg級	60kgを超えて66kg以下
	オ	73kg級	66kgを超えて73kg以下
	カ	81kg級	73kgを超えて81kg以下
	キ	90kg級	81kgを超えて90kg以下
	ク	90kg級超	90kgを超える
	【女子】	ア	40kg級
イ		44kg級	40kgを超えて44kg以下
ウ		48kg級	44kgを超えて48kg以下
エ		52kg級	48kgを超えて52kg以下
オ		57kg級	52kgを超えて57kg以下
カ		63kg級	57kgを超えて63kg以下
キ		70kg級	63kgを超えて70kg以下
ク		70kg級超	70kgを超える

- 7 引率者及び監督 (1) 引率者・監督・コーチは、当該校の校長・教員・部活動指導員であること。地域クラブ活動の場合は、登録した指導者であること。
 ※ただし、校長がやむを得ないと判断した場合に限り、長野県中学校総合体育大会・地区大会・新人大会引率規程に準じ、校長が引率者として承認した外部指導者の引率・監督を認める。(必要な手続きを行う)
- (2) 大会では外部指導者(コーチ)を置くことができる。ただし、外部指導者(コーチ)は、出場校の校長が認めた者1名(男女それぞれ1名)とし、承認書を参加申込時に提出する。
- (3) 中学校教職員は他校の外部指導者(コーチ)になれない。
- (4) 試合場には、選手、監督、コーチのみ入場可。その他の者の入場は認めない。
- (5) 監督・コーチは襟のある白系のシャツを着用し、スラックス等を穿くこと。ジャージ・ジーンズ・ハーフパンツ等は認めない。「試合場におけるコーチの振る舞い」に準じること。
- (6) 監督・コーチで審判ライセンス所有者には、審判を依頼する場合がある。

8 柔道衣点検

下記基準に基づいて、柔道衣点検を実施する。

- ① (公財) 全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣(上衣・下穿き・帯)を着用すること。(赤色マーキングのもの)
- ② 柔道衣には必ずゼッケン(学校名又は地域クラブ活動名・名入り)を縫い付けて出場すること。(必ず対角線にも縫ってあること)ゼッケンには学校名・地域クラブ活動名を記入すること。(学校名には中をつけてもよい)



- ③ 胸にチーム名の刺繍がある場合は、ゼッケンと一致していること。
- ④ 女子は、上衣の下に白色又は白に近い色の半袖で無地のTシャツ又は半袖のレオタードを着用すること。Tシャツのマーキングについては、(公財)全日本柔道連盟が定める規定(2013.4.1より施行)に準ずる。
- ⑤ 女子の帯については、男子同様とする。
- ⑥ 柔道衣点検の際は、試合時に着けるサポーター等を着用し点検を受けること

- 9 組み合わせ及び表彰 (1) 専門委員会において、責任抽選の上決定する。個人戦において、出場人数が少ない場合や4地区の出場人数に差のある場合は変則的なトーナメントになることもあり得る。
- (2) 男女団体戦上位4チーム、男女個人戦上位4名を表彰する。

- 10 申込み (1) 「[県中体連ホームページ](#)」より指定の用紙をダウンロードし、6月26日(水)までに下記へ郵送にて申し込む。※「学校用」と「地域クラブ活動用」のそれぞれの様式にて申し込む。

<申込担当>

〒395-0806 飯田市鼎上山2582

鼎中学校 山崎 直人 宛 TEL 0265-22-0173

- (2) 外部指導者(コーチ)を置く場合は、承認書を同封する。
- (3) 団体戦出場チームは地区大会時に配付される「団体戦原稿」(エクセル版)に団体戦の選手表(オーダー表)を入力し、指定送信先まで送る。
- (4) 大会参加料選手1人500円(補欠も含む)とプログラム代(1部500円)を大会当日の受付にて集金する。団体戦・個人戦の両方に出場する場合も1人1000円(参加料とプログラ

ム代) であり、参加料納付書 (「県中体連ホームページ」より指定の用紙をダウンロード) に必要事項を記入し持参する。

- (5) 施設使用料 (会場使用料・備品使用料・冷房費等) 1人2000円 (補欠も含む) を参加料・プログラム代とは別に大会当日の受付にて集金する。施設使用料納付書 (「県中体連ホームページ」より指定の用紙をダウンロード) に必要事項を記入し持参する。

- 11 その他 (1) 男女団体上位2チーム・男女個人各階級上位2名は、全国中学校柔道大会への出場権を得る (1位は県代表、2位は開催地)。また、男女団体上位2チーム・男女個人各階級上位3名は、北信越大会への出場権を得る。
- (2) 団体戦出場者は、13日に計量・柔道着点検済ませる。個人戦出場者は、13日・14日どちらで計量・柔道着点検を済ませてもよい。
- (3) 男女団体戦の選手表 (オーダー表) は、大会本部で用意する。
- (4) 大会運営全般 (申込み関係含む) に関する問い合わせ連絡先は、専門委員長とする。

危険防止のため特に申し合やす事項

- (1) 固め技などで、肩関節に障害をおよぼすような動作をしてはならない。肘が、立体的に見て正中線上を超えた場合には、「待て」とし立ち技から始める。
- (2) 試合場内外の攻防については、安全を優先し、試合会場の状況を踏まえながら競技を行う。
- (3) 内股や袖釣り込み腰等の技で、頭部から畳に突込みそうになった場合には、審判が選手の体を抑えて止めに入ることもある。
- (4) 抑え技の攻防において、頸部に危険が及ぶと審判が判断した場合は「待て」とする。
- (5) 上記以外については、今大会試合規定により処理する。

脳しんとう対応について

選手および監督・外部指導者 (コーチ) は下記事項を遵守すること

- (1) 大会前1ヶ月以内に脳しんとうを受傷したものは、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること
- (2) 大会中、脳しんとうを受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする
- (3) 練習再開や大会出場に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること
- (4) 当該選手の指導者は、大会事務局に対し、書面により事故報告を提出すること

北信越大会申込みについて

- (1) 申込み方法

所定用紙により大会申込・外部指導者届け等を作成し、①県大会当日に持参し、提出する。②下記まで郵送等する。

<専門委員長>

〒399-8205 安曇野市豊科5558番地

豊科北中学校 安田 忠久 宛 TEL 0263-72-2265

- (2) 申込み期限 令和6年7月17日 (水) 厳守

- (3) 北信越大会参加料選手一人2,000円 (補欠も含む) については、総体2日目の表彰式終了後に徴収する。

全国大会申込みについて

- (1) 大会2日目の表彰式終了後に要項等を配付し、説明する。

- (2) 指定した期日までに所定の申込を行う。大会参加料は一人4,000円 (補欠も含む)。